

事業所名

たのしまる学舎

支援プログラム

作成日

令和8年

2月

13日

法人（事業所）理念	事業所全体では、利用されるお子さまの困り感や保護者の方へ寄り添った対応を行い、また従業員にも喜んでもらえるような事業を目指しています。								
支援方針	「楽しく生きる」たのしまるをモットーに、子ども同士の関わりは貴重な学習の場であると捉えて、放課後の活動が豊かな学齢期を生きる子どもにとっての支えとなり、明日の自分を作るための後押しとなれるような支援を目指しています。								
営業時間	月～金	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	(事業所から10分程度の距離を目安に要相談)
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	毎日の生活リズムと本人の身体的なものを考慮しながら、日々の体調管理の把握に努めます。 学校終了後の解き放された時間を有意義に過ごせるための生活リズム確立のための時間や空間を提供します。							
	運動・感覚	個々の運動能力やモチベーションを保障しながら、活動の機会や場面を設定します。 感覚的な心地良さや安心できる環境設定にも考慮していきます。							
	認知・行動	その子自身の発達段階や理解状況を把握して、学習における適度な課題も常に検討しながら、環境設定や保護者との情報共有さらには学校との連携にも努めます。 本人の特性や得意・不得意も含めた行動特性を評価・理解しながら活動を楽しいものにできるように支援します。							
	言語 コミュニケーション	子ども同士の関わりを大切にしながらも、伝えたい・話したいといった気持ちの達成感や経験を積み重ねられるように、職員も適度に介入しながら活動を行っていきます。 必要に応じて専門職の先生のアドバイスも受けながら、口音機能・発声機能、食事形態などもより良い支援ができるように職員間での周知や検討もしていきます。							
	人間関係 社会性	子ども同士が活動(やりたいこと・やれること)を達成できるように必要なことや進め方、関わり方なども適宜支援していきます。 社会性を育む活動もみんなで考えながら、この場所で過ごす仲間としての時間を大切にしていきます。							
家族支援	療育活動内容の共有 定期的な面談や情報交換 相談援助			移行支援		各学校や関係機関との情報共有 (将来を見据えた)社会資源とのつながりの提供			
地域支援・地域連携	地域の事業所(児童分野・成人分野など)との交流や共同での活動 地域の支援センター(基幹センターなど)的な役割を持つ施設との連携 相談支援事業所との情報共有			職員の質の向上		研修の実施(外部・内部)			
主な行事等	定期的な防災訓練 季節の行事(お正月・節分・ひな祭り・夏祭り・ハロウィン・クリスマスなど) 長期休暇中の外出活動や個別的な関わり(個別的なプログラム)								